

経営比較分析表（平成28年度決算）

岩手県奥州市 奥州市総合水沢病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
運営	II		ド透1 剖方	救 感 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
120,099	16,726	非該当	10:1	

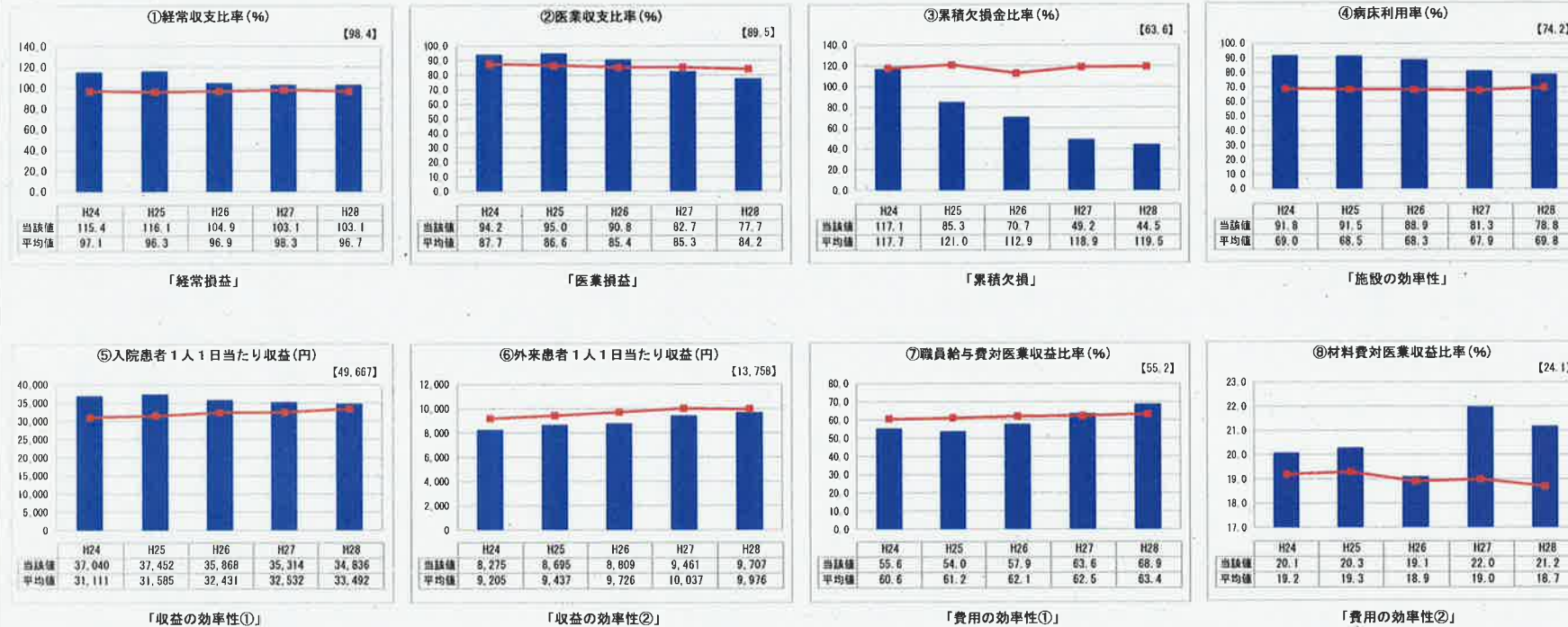
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
164	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	168
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
164	-	164

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

胆江二次医療圏の二次救急医療施設として、また、急性期医療から回復期医療を担う医療施設として、一般病床(145床)、感染症病床(4床)、人工透析(14床)、健診センター、運動療法施設などを備え、内科、循環器内科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科を中心とした医療を提供しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

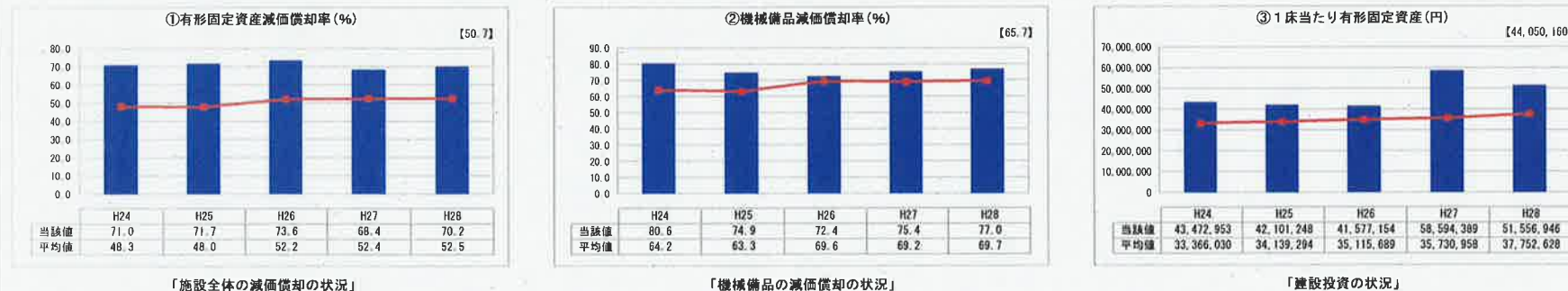
平成19年度末までに発生した不良債務は病院特例債の発行等により解消し、その後の経営改革の取組により事業収支は回復し経常収支比率は100%を超えて黒字基調となっています。

近年は、医師の退職等による病床利用率や医業収支比率の低下、職員数の増加等による職員給与費対医業収益比率の増加が課題となっています。また、平成27年度から高額なC型肝炎治療薬を使用する治療を開始したことに伴い、材料費対医業収益比率が上昇しています。

2. 老朽化の状況について

昭和43年築の検査手術棟はもとより、耐用年数(39年)が迫る本館も老朽化・陳腐化により様々な不具合が生じており、建替えを要する時期を迎えています。

2. 老朽化の状況



全体総括

医師の確保を図りながら、中核病院である県立胆沢病院との役割分担や医療連携を推進することに加え、今後の高齢社会において需要増加が見込まれる回復期医療についても、地域包括ケア病棟の導入など、その提供方法を検討します。

また、現施設の老朽化に伴う新市立病院の建設については、県が示す地域医療構想を踏まえて地域で検討していくこととなるため、県の関係部局や地元医師会等との十分な協議を加えうえて、医師不足や財政的な課題も含めながら検討を進めます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。